

平成30年度 行政評価表

担当課	南保育所
章名	第3章豊かな心を育むまちに暮らす
節名	第1節子ども・子育て支援の充実
施策名	2. 保育サービスの充実

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	現状と課題	安心して子供を産み育てられるよう、妊娠期や出産期、乳幼児期などにおける母子保健活動の充実を図る必要があります。全国的に家庭や地域の子育て力が低下し、育児に不安や悩みを抱く親が増加し、児童虐待などが問題になっています。また、共働き家庭の増加により保育所の入所希望者は増え、本町での保育所の園児はこの5年間で1.7倍になり、待機児童も増加傾向にあります。 子育て中の親たちを支援するため、本町では地域子育て支援センターや保育所を中心とした相談体制の整備を図るとともに多様化するニーズに対応した保育サービスの提供や、待機児童解消に向けた民間保育所の誘致などに取り組んできました。また、放課後児童クラブは需要が高まっており、一層の充実を図る必要があります。 国においては、子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から始まりますが、本町でも新制度に沿った新たな子育て支援策を積極的に推進していく必要があります。

まちづくり目標値	指標名		現状(平成25年度)
	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4)		

目標値への推移		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	目標(平成31年度)
	(1)					
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	38,567	37,655	0	0	1,485	36,170

今年度の 施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100％）
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70％）
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30％）
施策達成度 の理由 (施策に対する 今年度の実績 及び効果)	・子育て支援として、毎年保護者の保育参加(1日保育士体験)を実施している。 保護者にも保育参加が浸透し、100％の参加率。また、保育参加を通じて、保護者と職員の信頼 関係も深まっている。 ・保育所保育指針の改定に伴い、各年齢にあった保育について研修会を開催し職員のスキルアップ を図った。 ・安心・安全な保育を提供するために、プールやアレルギー等のマニュアルを見直し安全な保育を 実施した。 ・施設においては、改修・修繕計画を作成し緊急度にあわせ修繕を実施し、安全な保育環境を整 えた。		

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・子どもを取り巻く家庭環境、社会環境が複雑になっている。個々にあった対応、支援が必要になり保護者との連携が重要になってくる。
	住民ニーズの変化について	・保育所への入所を希望する子育て世帯が増えている。 ・保護者の保育所への要望も多様化している。
	展開した事業は適切であったか	・保育所施設の修繕が計画的に行われ、安全な保育環境を整えた。 ・保育指針に沿った保育を実践できるように園内研修等を実施し、保育の質を高めた。
	施策を達成するうえでの障害について	・保育課題の量や質が増大するなかで、保育体制を整えるための保育士の確保が大変厳しい状況にある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	・子どもの安全な保育の場を提供するため、定期的な改修・修繕を行なう。 ・保育の質をあげるため、職員の園内研修等を行い保育指針に沿った保育を検討し実践していく。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	・子育て支援の一環として町ホームページで情報を提供している。 ・地域の高齢者の方との交流の場として「世代間交流」を2団体と年2～4回実施している。 ・安全な保育環境を整備し保育の充実を図っている。
----------------------	--